

新未来ビジョン・フォーラム第1回情報交換会（要旨）

日 時：令和5年1月31日（火）10:00～12:00

場 所：オンライン開催

議 事：

1. 開会
2. 藤本フェローによる発表
3. 意見交換
4. 閉会

新井消費者庁長官・新未来創造戦略本部長からの初回開会に当たっての冒頭挨拶の後、藤本フェローから同フェローが過去に携わった未来予測に関する研究について紹介があった。その後の意見交換における参加者からの主な御意見は概ね以下のとおりであった。

（本フォーラムが対象とする未来の範囲に係る主な御意見）

- ・技術等の進歩に係る予測がある程度成立する範囲の未来を対象とすることが適切ではないか等の意見があった。
- ・既存の未来予測は2030年を描くものが多いところ、その一歩先に行くという観点からは、10年～20年程度先の未来を対象としてはどうか等の意見があった。
- ・現在の若者世代が消費活動の中心を担う時期となる等の理由から、20年～30年程度先の未来を対象としてはどうか等の意見があった。
- ・比較的近い未来と、比較的遠くの未来という2つの視点で考えるということも有益ではないか等の意見があった。

（未来予測の方法等に係る主な御意見）

- ・あるべき未来を考えるのか、起こり得る未来を考えるのか等、未来予測の手法や観点は多様である等の意見があった。
- ・時代に応じて変化するものだけでなく、時代を通じて変わらない「不易」なものにも焦点をあてる考え方や、未来に生じるかもしれない負の側面も視野に入れつつそのような未来にならないようにするためにどうすべきかといった考え方もあるのではないかな等の意見があった。
- ・未来では、何がなくなっていて、何が新しくなるのかという視点、さらに何故なくなったり、新しくなったのかといった「何故」を追求することで新たな課題が見えてくるのではないかな等の意見があった。
- ・人のつながり、消費者の感情や心理、価値観などが、どう変化するのか又は変化しないのかといった観点も有益ではないかな等の意見があった。
- ・未来予測は偶々当たるのではなく、その予測に我々が向かって行くことにより結果として当たる（実現する）という側面もあるので、ワクワクするような未来のビジョンを描くという、本フォーラムの趣旨はとても重要である等の意見があった。

（以上）